

学校運営協議会 議事録

校名	府立たまがわ高等支援学校
(准)校長名	東野 裕治

開催日時	令和4年7月12日(火) 10:00 ~ 11:30
開催場所	たまがわ高等支援学校 会議室
出席者(委員)	協議会委員6名
出席者(学校)	事務局員8名
傍聴者	なし
協議資料	<資料1>学校運営協議会実施要項 <資料2>令和3年度学校経営計画及び学校評価について <資料3>令和4年度学校経営計画及び学校評価について <資料4>進路指導の状況について <資料5>生徒指導の状況について <資料6>令和4年度教科書について
備考	

議題等(次第順)

- (1) 学校運営協議会実施要項
- (2) 令和3年度学校経営計画及び学校評価について(報告)
- (3) 令和4年度学校経営計画及び学校評価について  
進路指導の状況について、生徒指導の状況について、令和4年度教科書について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- (1) 学校運営協議会実施要項 (承認6名)  
概略の説明。
- (2) 令和3年度学校経営計画及び学校評価について(報告) (承認6名)  
令和3年度の学校評価については前年度の第3回(書面開催)にて承認済み。  
共生推進教室との交流で食品加工品の予約販売ができた。卒業後1年の離職率は12.5%だった。入学してくる生徒層が変わっている。今までとは違うカリキュラムを考えていかなければならない。1人1台端末についても力を入れた。生徒会の取り組みで喫茶スペースを生徒がボランティアでリフォームした。コロナの影響で部活動については体験入部ができなかったため加入率が少し下がった。働き方改革と言われているがなかなか思うようにいかず、今年の課題と考えている。
- (3) 令和4年度学校経営計画及び学校評価について (承認6名)  
開校して17年目、今の状況の変化も含めて今後10年に合わせた教育カリキュラムとして検討する、とした。SSWとの連携では、ヤングケアラーをしっかり支援する。府立支援学校教務研究会の事務局として、活動を充実させる。たまがわランドやマルシェなど具体的な取り組み内容は同じであるが、指標を変えている。オンデマンドやオンラインで本校の取り組みを理解してもらいたい。離職率は一桁になれば。一人一台端末は、年度末までに5割以上の授業で端末を使った授業を行いたい。全ての教室にスクリーンを配備したい。キャリアプランニングマトリックスを活用する。コグトレは個別プログラムに移行したい。昨年度より遅刻を1割以上減らす。生徒会活動では新しい交流機会を考えている。教員の研修は、全般的な人権問題、例えば同和問題などで外部講師を招聘して幅広く研修を行う。今後10年を見据えた将来構想委員会を立ち上げ、各先生方から意見を吸い上げながらカリキュラムや学校運営を変える議論を進めている。毎週水曜日に加えて給料日を定時退庁日に設定した。

- 意見
- ・職場実習は多くの企業が受け入れできるようになっているが、コロナ第7波も心配。
  - ・12%が離職しているのはどのような状況なのか細かく分析する必要があるのでは。
  - ・離職についてはコミュニケーション不足があるのでは。今まで守られてきたが、社会に出て一人で周りに頼ることもできなくて離職してしまう人が増えているのでは。
  - ・離職率について、職場と本人とのマッチングが弱いのでは、と感じている。本人は働きたくなくても就職してしまうので、マッチングがうまくいくかどうかで定着率も変わる。難しいが大事なことだと思う。
  - ・働くことを経験する、ほめられる、人と関わる、などプラスの経験をすると自信につながり働くことができるのでは。人との関わりをプラスにとらえられるように、また訓練期間中に不登校を克服しておかないと、就職しても課題をひきずることになる。
  - ・たまがわで教えてもらった清掃を会社でほめてもらうこともある。ほめてもらって自信がついた。
  - ・SSWについては生徒が相談しやすい環境が作られればよいが。
  - ・ソーシャルコミュニケーションは授業としてできるのか考えていただきたい。SNSトラブルなど難しい事象が増えている。

次回の会議日程

日時	令和4年12月
会場	たまがわ高等支援学校